



協力して開発を行う技術屋集団の皆さん



時代の先を読む 開発型技術屋集団

どのような製品を造っている会社ですか？

私たちの主力製品は、バッテリーといふポータブルエンジンスターターです。

緊急車両や重機などのエンジンが、いざという時かからないと大変ですよ。ね。そんな時の予備バッテリーとして、30年に渡って支持してもらっています。

30年に渡って、お客様に支持されている理由は、何だと思えますか？

もちろん、お客様の要望に十分にかなう商品を作っているからです。商品を作る時に注意しているのが、私たちよりもお客様がより大きな利益を得ることができるといことです。そういう商品を作っているとお客さん自身が商品の良さを広めてくれるので、多くの人に使ってもらえるんです。

平成25年度の科学技術白書に取り上げられたと聞きました。

私たちは、バッテリーだけでなく産官学の共同研究で生まれた技術を商品化する事業を展開しています。

その中で、奈良女子大学や県と共同開発した電動運搬車を白書に取り上げて



大きさは通常のバッテリーの1/5程度と小型だが、重機も動かせるパワフルなバッテリー

いただきました。この電動運搬車にも当社開発の電池が使われているんですよ。



トルコやJST(日本科学技術振興機構)からも視察に訪れる電動運搬車(国の委託事業)

限られた人員で、そのような開発をするのは大変だったのではないですか？

当社の社員数は10人なので確かに多い方ではありません(笑)。しかし、多くの大学や県の公設研究施設と共同開発して、色々なアイデアを共有することができるんです。電動運搬車も奈良工業高等専門学校と当社の共同研究で人の後を自動追従する新機能を開発しました。あと、当社の社員は単に業務をこなす従業員ではなく、国から認定を受けた研究者なんです。皆、自分で考えて行動し、力強く頼りになる仲間です。

採用の予定はありますか？

若手の人材を育てていかないと、と考えているところで、平成27年春から新卒・中途を問わず若干名の採用を検討中です。求めている人材は、理系の人ですが、何も大学を出る必要はありません。おもしろい発想ができる人と仕事をしたいですね。

私自身楽しいことが好きなので、一緒に良い仕事ができると思いますよ(笑)。

今後の目標について教えてください。

現場のニーズにあった、世にない商品づくりを続けて当社のファンを世界中に増やしていきたいですね。最先端の技術を使って、より広く社会にも貢献できる会社を目指しています。

三晃精機株式会社



「仕事には余裕をもって、先を見据えることが大切」と語る代表取締役社長 三晃 元信さん

主に農業機械、医療用機械等の製造・販売を行う。斬新な製品開発、産官学連携による研究開発等が認められ、近畿経済産業局が「KANSAIモノ作り元気企業」に選定。「イネと光の研究」では論文を科学誌「サイエンス」、「ネイチャー」などに、大学と共同発表、毎年多くの研究を続けており地域活性化に貢献するなど、今後も活躍が期待されている。

〒大和高田市東三倉堂町7-13
TEL 0745-52-0025
FAX 0745-23-2732
URL www.sanko-seiki.co.jp